

I. 本学指定の必修科目

《理科・農業・栄養教諭免許取得希望者共通》

授業科目名	単位数	履修要件	分野	備考
人権論A	2	2単位 選択必修	教養	A B両科目を履修することが望ましい
人権論B	2		教養	

II. 「教育職員免許法施行規則」第66条の6に定める科目

《理科・農業・栄養教諭免許取得希望者共通》

免許法施行規則に定める科目	本学開講の関連科目および単位数			
	科目名	単位数	履修要件	分野
日本国憲法	日本国憲法	2	必修	教養
体育	スポーツ技術学A	1	1単位 必修	教養
	スポーツ技術学B	1		
	現代社会とスポーツ	2	2単位 必修	
	健康とスポーツ	2		
外国語コミュニケーション	英語総合1 (A)	1	2単位 選択必修	教養
	英語総合1 (B)	1		
	英語総合2 (A)	1		
	英語総合2 (B)	1		
	英語総合3	1		
	英語総合4	1		
	ドイツ語I A	1		
	ドイツ語I B	1		
	フランス語I A	1		
	フランス語I B	1		
	中国語I A	1		
	中国語I B	1		
情報機器の操作	情報教育論	2	必修	専攻

Ⅲ. 教職に関する科目《理科・農業免許取得希望者》

※表中の「配当年次」とは履修可能となる最低年次を示しています。

免許法施行規則に定める科目区分等		中学校教諭、高等学校教諭一種免許状					備考
科目区分	各科目に含める必要事項	本学開講科目	単位	履修要件	分野	配当年次	
教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） 《免許状の教科ごとに必修》	理科教育法A	2	必修	随意	2	※1 ※2
		理科教育法B	2				
		理科教育法I	2				
		理科教育法II	2				
		農業科教育法I	2	必修	随意	3	※1
		農業科教育法II	2				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論A	2	2単位 選択必修	教養	1	A・B両科目 履修が望ましい
		教育原論B	2				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	必修	随意	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	学校教育社会学	2	必修	随意	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・発達論A	2	2単位 選択必修	教養	2	A・B両科目 履修が望ましい
		学習・発達論B	2				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	必修	随意	
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	必修	随意	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法（内容）及び生徒指導教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育指導法	2	中学校免許取得希望者のみ必修	随意	3	※3
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間・特別活動論	2	必修	随意	3	
	特別活動の指導法						
	教育の方法と技術	教育の方法と技術（ICT活用含む）	2	必修	随意	3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	必修	随意	2	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	必修	随意	3		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導I	1	必修	随意	4	
		教育実習指導II A	4	選択必修	随意	4	※4
		教育実習指導II B	2			4	※4
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	必修	随意	4	※5
合計		中学校：37単位以上		高等学校：29単位以上			

※1 「〇〇科教育法I」は「〇〇科教育法II」よりも前に修得しなければなりません（先修科目）。

※2 「〇〇科教育法A」及び「〇〇科教育法B」については、履修の順序を問わず、「〇〇科教育法I」や「〇〇科教育法II」の先修科目としません。

※3 高校免許取得希望者が、中学校免許取得に必要な「道徳教育指導法（2単位）」を修得した場合は、法

律で定める「大学が独自に設定する科目」に充てられます。そのため、本学で高等学校一種免許状取得に必要として開講している「教科及び教職に関する科目」には充当できません。

- ※4 中高両免許取得者は「教育実習指導ⅡA」（4単位）を登録すること。詳細については、P.12「3. 教育実習について」を参照してください。
- ※5 「教職実践演習（中・高）」の履修については、P.15「4. 教職実践演習の履修について」を参照してください。

履修年次は変更になる可能性があるため、必ず履修登録時に時間割等で確認をしてください。

IV. 介護等体験《理科免許取得希望者》

科目名	単位	履修要件	内容	履修年次
介護等体験	2	中学校免許取得希望者のみ必修	事前指導、介護等体験、事後指導	3年次以降

V. 教科に関する科目《農業免許取得希望者》

教科に関する科目は専攻科目がほとんどですが、随意科目もあります。専攻科目の配当年次は『農学部履修要項』で確認してください。

随意科目の配当年次は下記の通りです。

科目名 〈単位数〉	配当年次				備考
	1	2	3	4	
職業指導 ※「農業」免許必修科目 〈2〉			○		植物生命科学科、資源生物科学科、食料農業システム学科

※選択科目は選択科目群全体から必要単位を修得すること。特定の科目群の科目のみで必要単位を修得しても問題ありません。

中学校教諭一種免許状

農学部（植物生命科学科） 理科

（ ）は単位数

教科に関する 専門的事項 の科目区分	本学開講の関連科目及び単位数		
	必修単位	必修科目	選択科目
物理学	2	物理学概論 (2)	生物物理学 (2)
物理学実験 (コンピュータ活用 を含む。)	1	物理学実験 (1)	生物物理学実習 (1)
化学	2	化学概論 (2)	有機化学 (2) 分析化学 (2)
化学実験 (コンピュータ活用 を含む。)	2	基礎化学実習 (2)	
生物学	12	遺伝学 I (2) 植物生理・生化学 I (2) 森林生態学 (2) 昆虫学 I (2) 分子生物学 (2) ゲノム情報学 I (2)	身近な植物 (2) 微生物学 I (2) 分子育種学 II (2) 植物資源学 I (2) 植物栄養学 I (2)
生物学実験 (コンピュータ活用 を含む。)	2	基礎生物学実習 (2)	
地学	2	地学概論 (2)	土壌学 I (2)
地学実験 (コンピュータ活用 を含む。)	2	地学実験 (2)	
計		25単位	3単位以上
★履修要件	必修科目25単位を含め、計28単位以上の修得が必要		

高等学校教諭一種免許状

農学部（植物生命科学科） 理科

（ ）は単位数

教科に関する 専門的事項 の科目区分	本学開講の関連科目及び単位数		
	必修単位	必修科目	選択科目
物理学	2	物理学概論 (2)	生物物理学 (2)
化学	2	化学概論 (2)	有機化学 (2) 分析化学 (2)
生物学	12	遺伝学 I (2) 植物生理・生化学 I (2) 森林生態学 (2) 昆虫学 I (2) 分子生物学 (2) ゲノム情報学 I (2)	身近な植物 (2) 微生物学 I (2) 分子育種学 II (2) ゲノム情報学 II (2) 植物資源学 I (2) 植物栄養学 I (2)
地学	2	地学概論 (2)	土壌学 I (2)
「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)、 化学実験 (コンピュータ活用を含む。)、 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)、 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)」	7	物理学実験 (1) 基礎化学実習 (2) 基礎生物学実習 (2) 地学実験 (2)	生物物理学実習 (1)
計		25単位	7単位以上
★履修要件	必修科目25単位を含め、計32単位以上の修得が必要		

農学部（植物生命科学科） 農業

（ ）は単位数

教科に関する 専門的事項 の科目区分	本学開講の関連科目及び単位数		
	必修単位	必修科目	選択科目
農業の関係科目	18	農学概論 (2) 暮らしの中の食品学 (2) 事例に学ぶ食品マーケティング (2) 作物学 I (2) 植物病理学 I (2) 虫と農業 (2) 畜産学概論 (2) 農業環境工学 (2) 分子育種学 I (2)	日本の歴史と農業 (2) 調理のサイエンス (2) 会社と農家のしくみ (2) 植物育種学 (2) 雑草学 I (2) 生物統計学 (2) 水産学概論 (2) 農薬学 (2) 昆虫学 II (2)
職業指導	2	職業指導 (2)	
計		20単位	12単位以上
★履修要件	必修科目20単位を含め、計32単位以上の修得が必要		

中学校教諭一種免許状

農学部（資源生物科学科） 理科

（ ）は単位数

教科に関する 専門的事項 の科目区分	本学開講の関連科目及び単位数		
	必修単位	必修科目	選択科目
物理学	2	物理学概論 (2)	生物物理学 (2)
物理学実験 (コンピュータ活用 を含む。)	1	物理学実験 (1)	生物物理学実習 (1)
化学	2	化学概論 (2)	有機化学 (2) 分析化学 (2)
化学実験 (コンピュータ活用 を含む。)	2	基礎化学実習 (2)	
生物学	12	遺伝学 I (2) 植物生理・生化学 I (2) 森林生態学 (2) 発酵醸造学 I (2) 植物栄養学 I (2) 線虫学 I (2)	身近な植物 (2) 植物資源学 I (2) 植物栄養学 II (2)
生物学実験 (コンピュータ活用 を含む。)	2	基礎生物学実習 (2)	
地学	2	地学概論 (2)	土壌学 I (2)
地学実験 (コンピュータ活用 を含む。)	2	地学実験 (2)	
計		25単位	3単位以上
★履修要件	必修科目25単位を含め、計28単位以上の修得が必要		

高等学校教諭一種免許状

農学部（資源生物科学科） 理科

（ ）は単位数

教科に関する 専門的事項 の科目区分	本学開講の関連科目及び単位数		
	必修単位	必修科目	選択科目
物理学	2	物理学概論 (2)	生物物理学 (2)
化学	2	化学概論 (2)	有機化学 (2) 分析化学 (2)
生物学	12	遺伝学 I (2) 植物生理・生化学 I (2) 森林生態学 (2) 発酵醸造学 I (2) 植物栄養学 I (2) 線虫学 I (2)	身近な植物 (2) 植物資源学 I (2) 植物栄養学 II (2)
地学	2	地学概論 (2)	土壌学 I (2)
「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)、 化学実験 (コンピュータ活用を含む。)、 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)、 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)」	7	物理学実験 (1) 基礎化学実習 (2) 基礎生物学実習 (2) 地学実験 (2)	生物物理学実習 (1)
計		25単位	7単位以上
★履修要件	必修科目25単位を含め、計32単位以上の修得が必要		

高等学校教諭一種免許状

農学部（資源生物科学科） 農業

（ ）は単位数

教科に関する 専門的事項 の科目区分	本学開講の関連科目及び単位数		
	必修単位	必修科目	選択科目
農業の関係科目	20	農学概論 (2) 暮らしの中の食品学 (2) 事例に学ぶ食品マーケティング (2) 植物育種学 (2) 作物学 I (2) 雑草学 I (2) 虫と農業 (2) 畜産学概論 (2) 農業環境工学 (2) 果樹園芸学 I (2)	調理のサイエンス (2) 会社と農家のしくみ (2) 収穫後生理学 (2) 植物病理学 I (2) 水産学概論 (2) 分子育種学 I (2) 花き野菜園芸学 I (2) 応用昆虫学 (2) 線虫学 II (2) 農薬学 (2)
職業指導	2	職業指導 (2)	
計		22単位	10単位以上
★履修要件	必修科目22単位を含め、計32単位以上の修得が必要		

高等学校教諭一種免許状

農学部（食料農業システム学科） 農業

（ ）は単位数

教科に関する 専門的事項 の科目区分	本学開講の関連科目及び単位数		
	必修単位	必修科目	選択科目
農業の関係科目	20	農学概論 (2) 畜産学概論 (2) 農業環境工学 (2) 遺伝の考え方 (2) 植物栽培の考え方 (2) 調理のサイエンス (2) 食料・農業経済学 (2) 農企業経営論 (2) 農業組織団体論 (2) 食料流通システム論 (2)	収穫後生理学 (2) 雑草学Ⅰ (2) 虫と農業 (2) 水産学概論 (2) 分子から見た生命 (2) 花と果物の科学 (2) 暮らしの中の食品学 (2) アグリフードビジネス論 (2) フードビジネスファイナンス論 (2) 食と農の安全安心論 (2) ソーシャルキャピタル論 (2)
職業指導	2	職業指導 (2)	
計		22単位	10単位以上
★履修要件	必修科目22単位を含め、計32単位以上の修得が必要		

<栄養教諭一種免許状の取得について> 【食品栄養学科対象】

1. 栄養教諭とは

栄養教諭とは、「食育」の推進をはじめ、小中学校等の義務教育諸学校における、児童生徒への栄養指導および栄養状態の管理を担当する教育職員です。

食生活を取り巻く環境が大きく変化し、多様化が進む中で、例えば、朝食を摂らない子どもの食生活の乱れが指摘されています。子どもたちが将来にわたって健康な生活をおくれるよう、栄養や食事のとり方などについて正しい知識に基づいて自ら判断し、食をコントロールしていく「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を子どもたちに身につけさせることが求められています。

このような背景により、2005（平成17）年4月に「栄養教諭」が制度化されました。

また、2006（平成18）年3月31日に政府の食育推進会議において決定された「食育推進基本計画」では、全都道府県における栄養教諭の早期の配置が求められています。

各学校への栄養教諭の配置が進むことにより、栄養教諭を中心として「食」に関する指導にかかる全体計画が作成されることや、「食」に関する指導と給食管理を一体のものとして行うことにより、地場産物を活用して給食と食に関する指導を実施するなど、教育上の高い相乗効果が期待されています。

具体的には、肥満・偏食・食物アレルギーなどの児童生徒に対する個別指導や、学級活動・学校行事において、集団的な食に関する指導、家庭・地域と連携した食に関する指導を推進するための連絡・調整を行います。その他にも、学校給食における、栄養管理をはじめ、衛生管理や検食、物資管理等、「食の安全・安心」を担う役割として期待されています。

栄養教諭普通免許状には、「専修」、「一種」、「二種」の3種類があります。

本学農学部食品栄養学科では、所定の課程を修めることで「栄養教諭一種免許状」の取得が可能です。

2. 栄養教諭一種免許状の授与を受けるための基礎資格と最低修得単位数

『教育職員免許法』に定める法律上の最低修得単位数は、下表のとおりです。そのほかに、『教育職員免許法』第5条および『教育職員免許法施行規則』第66条の6に定める科目の履修が必要です。なお、本学の教職課程で免許を取得する為に必要な単位数等については、本学が定める履修基準の単位取得が必要となりますので留意してください。

（教育職員免許法 別表第二の二（第五条関係） 一部抜粋）

免許状の種類		基礎資格	最低修得単位数
			栄養に係る教育又は教職に関する科目
栄養教諭	一種	学士の学位を有すること、かつ、栄養士法第二条第三項の規定により管理栄養士の免許を受けていること又は同法五条の三第四号の規定により指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、同法第二条第一項の規定により栄養士の免許を受けていること。	22

3. 栄養教諭一種免許状を取得するには

栄養教諭一種免許状を取得するには、60ページに記載している「基礎資格」を卒業時に充たすことと、下表に示した科目群の単位を修得することが必要です。

各科目群の詳細は、下表「詳細記載ページ」を参照してください。

科目群	必要単位数	詳細記載ページ
本学指定の必修科目	2単位	52ページ
「教育職員免許法施行規則」第66条の6に定める科目	9単位以上	52ページ
教職に関する科目《栄養教諭免許取得希望者》	26単位以上	64ページ
栄養に係る教育に関する科目	6単位	65ページ

4. 栄養教育実習について

(1) 本学における栄養教育実習に関する科目

大学における事前・事後指導と、小学校または中学校において実施する実習の両方を受講する必要があります。本学では、次のとおり開講しています。

科目名	単位	内容	履修年次
栄養教育実習指導Ⅰ	1	事前指導	4
栄養教育実習指導Ⅱ	1	実習および事後指導	4

● 「栄養教育実習指導Ⅰ」について

大学での事前指導です。教育実習実施年度に登録・履修することとなります。

● 「栄養教育実習指導Ⅱ」について

教育現場における実習を内容とします。なお、実習後に大学で事後指導を行います。

不明な点があれば教職センターまたは、農学部教務課まで問い合わせてください。また授業日程等の連絡事項については教職センター掲示板にて行います。掲示板を必ず確認してください。

(2) 栄養教育実習についての基本的留意事項

『教育職員免許法』に基づき、免許取得条件の重要科目に栄養教育実習があります。栄養教育実習は法律により、2単位の取得が必要です。

「栄養教育実習指導Ⅰ」（1単位）として事前指導を受け、「栄養教育実習指導Ⅱ」（1単位）で教育実習に参加し、大学における事後指導を受けますが、そのすべての単位を修得することが必要です。

教育実習は、実習校での正規の教育活動の中で行われます。実習生であってもその学校の教師として、自覚と責任を持って参加し、その学校の教育目標を理解し、校則、規律等を守り、勤務時間内だけでなく、実習期間全体を通して教育活動に専念しなければなりません。さらに授業実践においては、大学で履修した理論や、模擬授業等教育実践活動の体験を生かし、授業範囲の教材研究等を十二分に、成果を上げるよう万全の努力をする必要があります。

このようなことを充分果たせる能力と自覚を養うため、先修科目の設定や、事前・事後指導等を厳しく実施しています。

教育実習は、大学と実習校との間で所定の手続き等を行い、厳密なルールのもとに実施されています。したがって、実習を予定している学生は、大学および実習校との間で一定の手続きが必要です。実習生個々の不注意や、安易な対応があれば受入校に多大な迷惑がかかり、また今後の教育実習について重大な支障が起こることがありますので注意してください。

(3) 栄養教育実習の単位登録

履修登録期間中に所定の単位登録をしなければ栄養教育実習は受けられません。また栄養教育実習実施の前年度に実施する説明会で、〈第1次予備登録〉および〈第2次予備登録〉の手続きが必要です（説明会で登録書類を配付しますので必ず出席してください。欠席の場合は以後の受講はできません）。

(4) 栄養教育実習の受講資格

- ア. 当該年度（栄養教育実習実施年度）において卒業見込みの者
- イ. 前年度中に〈栄養教育実習予備登録〉等所定の手続きを完了している者
- ウ. 前年度までに次の教育実習の先修科目の単位を修得している者

☆栄養教育実習の先修科目

先修科目名称	単位
「人権論A」または「人権論B」	2
「教育原論A」または「教育原論B」	2
「学習・発達論A」または「学習・発達論B」	2
「教育課程論」	2
「生徒指導論（栄養教諭）」	2
「学校栄養実践論」	2
「学校栄養指導論」	2

(5) 栄養教育実習の評価

栄養教育実習の評価は「栄養教育実習指導Ⅰ」（1単位）と「栄養教育実習指導Ⅱ」（1単位）を個々に評価します。なお、「栄養教育実習指導Ⅱ」については、実習校での成績と大学における成績による総合評価とします。

(6) 栄養教育実習校の選定

教育実習校の選定については、別途説明会で指示があるので注意してください。

教育実習校は、あらかじめ教育実習前年度中に個別に内諾を得ることが必要です（地域によっては内諾を得るのに特別な手続きがあります。詳細は3年次4月の説明会で説明します。）。内諾の後に大学と教育実習校との間で依頼等の諸手続きを開始します。

(7) 栄養教育実習の事務手続

教職センター掲示板にて案内をします。掲示板を必ず確認してください。

5. 教職実践演習（栄養教諭）の履修について

栄養教諭一種免許状の取得を希望する場合は、「教職実践演習（栄養教諭）」の履修が必要となります。履修については、掲示または説明会を行いますので、掲示板を必ず確認してください。

6. 栄養教諭一種免許状の申請

卒業年次生を対象に説明会を行います。

履修モデル（栄養教諭免許取得希望者）

下記は、瀬田学舎で教職を目指す場合の典型的な履修例であり、これ以外の履修形態もあります。

年度によっては、教職科目と学部・学科の専門科目が同じ時間帯に配置されているため、下記のような履修が出来ない場合があります。教職科目と学部・学科の専門科目（卒業要件）の時間割が重複している場合は、学科の専門科目（卒業要件）の履修を優先させ、教職科目は次年次以降に履修してください。なお、各科目の開講期は、今後変更になる場合もあります。

年次	科目の区分	開講期		備考
		第1学期（前期）	第2学期（後期）	
1年	本学指定の必修科目	人権論A	人権論B	(注1)
	日本国憲法		日本国憲法	前期での履修も可
	体育	スポーツ技術学A	スポーツ技術学B	(注2)
	外国語コミュニケーション	英語総合1（A）	英語総合2（A）	
		英語総合1（B）	英語総合2（B）	
教職科目	教育原論A	教育原論B	(注1)	
2年	体育	健康とスポーツ	現代社会とスポーツ	(注2)
	外国語コミュニケーション	英語総合3	英語総合4	
	教職に関する科目	学習・発達論A	学習・発達論B	(注1)
		教職論	教育課程論	
		特別支援教育概論	生徒指導論(栄養教諭)	
栄養に係る教育に関する科目	学校教育社会学		(注3)	
3年	情報機器の操作	食の文化論		
	教職に関する科目	情報教育論		
		教育相談		
		総合的な学習の時間・特別活動論		(注3)
	教育の方法と技術（ICT活用含む）	道徳教育指導法		(注3)
栄養に係る教育に関する科目		学校栄養実践論		
		学校栄養指導論		
4年	教職に関する科目	栄養教育実習指導Ⅰ	教職実践演習（栄養教諭）	
		栄養教育実習指導Ⅱ（通年、集中）		

(注1) AとBの両方を履修することが望ましいが、どちらか一方のみでも可。

(注2) どちらか一方を必修とする。

(注3) 「学校教育社会学」「総合的な学習の時間・特別活動論」「教育の方法と技術」（ICT活用含む）は、学科の専門科目と重複する可能性が高い。その際は、翌年度に履修すること（開講期は、今後変更になる場合があります）。

Ⅳ. 教職に関する科目《栄養教諭免許取得希望者》

※表中の「履修年次」とは履修可能となる最低年次を示しています。

免許法施行規則に定める科目区分等		中学校教諭、高等学校教諭一種免許状					備考
科目	各科目に含める必要事項	本学開講科目	単位	履修要件	分野	配当年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論A 教育原論B	2 2	2単位 選択必修	教養	1 1	A・B両科目履修が望ましい
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	必修	随意	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	学校教育社会学	2	必修	随意	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・発達論A 学習・発達論B	2 2	2単位 選択必修	教養 教育	2 2	A・B両科目履修が望ましい
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	必修	随意	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	必修	随意	2	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育指導法 総合的な学習の時間・特別活動論	2 2	必修	随意	3 3	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法と技術（ICT活用含む）	2			必修	随意
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（栄養教諭）	2	必修	随意	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	必修	随意	3	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	栄養教育実習指導Ⅰ	1	必修	随意	4	
		栄養教育実習指導Ⅱ	1			4	
	教職実践演習	教職実践演習（栄養教諭）	2	必修	随意	4	
合計		26単位以上					

履修年次は変更になる可能性があるため、必ず履修登録時に時間割等で確認をしてください。

栄養教諭一種免許状

農学部（食品栄養学科）

（ ）は単位数

栄養に係る教育に関する科目の科目区分	本学開講の関連科目及び単位数		
	必修単位数	必修科目	選択科目
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 	2	学校栄養実践論 (2)	
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関する歴史的及び文化的事項 	2	食の文化論 (2)	
<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導の方法に関する事項 	2	学校栄養指導論 (2)	
計		6 単位	
★ 履修要件	必修科目 6 単位の修得が必要		